



こんな本も読んでみましょう

選者：さいたま市立針ヶ谷小学校 教諭 鶴田 裕子

日本の
昔話

「しょうじょうじのたぬきばやし」

♪まけるな まけるな おしょうさんにまけるな～

むかし、やまにかこまれたちいさなおてらがありました。やまには、たぬきがたくさんすんでいて、よるになるとらにやってきては、はらつづみをうったり、あばれたりしていたずらばかり。えらいおしょうさんやちからのつよいおしょうさんがきても、おいだしてしまいます。つぎに、きたないおしょうさんがやってきましたが、どうなるのかな？

日本の
昔話

「たぬきのいとぐるま」

いたずらもんだが、かわいいな～

むかし、あるやまおくに、きこりのふうふがすんでいて、まいばん、たぬきがいたずらをするので、きこりがわなをしかけました。あるばん、おかみさんが、いとぐるまをまわしていると、たぬきがふたつのくりくりしためだまをくりくりとまわしながら、おかみさんのまねをしています。それから、まいばなたぬきはやってきて、どうなるのかな？

作：中川 正文

「ごろはちだいみょうじん」

ごろはちだいみょうじんは、どんなかみさまなのかな？

べんてはんのもりにすむ、ごろはちといういたずらたぬきは、ごちそうをぬすんでも、あとであけびややまぶどうなどをかえしておくようなきちょうめんなたぬきでした。あるとき、むらにはじめてきしゃがやってくるのをみたむらのひとたちは、ごろはちがばけたとかんちがいをしてせんろにとびだしていきます。それをみたごろはちは、……。

作：新美 南吉

「げたにばける」

こどものたぬきが、ばけたげたをおさむらいさんが、はいてしまった!!

おかあさんたぬきがこだぬきに、ばけかたをおしえていました。こだぬきは、げたにばけることがいちばんとくいでした。そこへ、げたのひもがきれてこまっていたおさむらいさんが、げたをみつけて、はいていってしまったから、さあ、たいへん!! おかあさんたぬきは、こだぬきがしんばいであとからついていきます。こだぬきはだいじょうぶかな？